

闇川集落の地域 PR

a2200823 田部聡美
a2200832 油井 葵

概要

会津若松市大戸町にある闇川集落は、「炭と山菜の里」として評価を受けていたが、炭の需要の減少、住民の高齢化などの原因により、炭焼き事業は廃業となっていた。しかし、2008年に地区住民や会津若松市を中心に「闇川丸ごと自然を生かし隊」が結成され、地区の再生活動が始まった。私たち会津短大生も活動に参加し、闇川地域の宝探し、記録、パンフレット等のグラフィックツールのデザインを行う。

目的

- 炭焼きの里の活性化に貢献するために、
1. (パンフレットを活用することで)「闇川」の存在を知ってもらう。
 2. (パンフレットを見て、魅力を感じてもらえば) 集落へ足を運ぶキッカケを作る。
 3. 闇川の魅力と私たちのアイデアを結び付け、今までにないグラフィカルなアピールに挑戦する。

経過

闇川集落の調査

- ・ 5/9 顔合わせ、炭窯作り参加、そばの試食
- ・ 5/30 炭窯完成式
- ・ 6/14 山開き、そば祭り
- ・ 7/15 小学生に取材
- ・ 8/15 写真撮影
- ・ 8/26-27 宿泊体験
- ・ 9/28 回帰フェア反省会
- ・ 10/25 新そば・きのご祭り
- ・ 11/24 闇川丸ごと自然を生かし隊に取材

イベント参加 (9/22-23)

早稲田大学で開催された、ふるさと回帰フェア 2009 に参加した。展示のためにパネルや商品カタログなどを制作した。また、他地域の展示を見学したり、資料の収集を行った。

チーム会議 (11月)

プロダクトゼミのメンバーも含め、全体のコンセプト等を話し合った。これまでの調査から、闇川集落は活性化に向けての発展途上の真っ只中にあると考え、私達短大生の作品は、闇川のイメージを広げるようなデザインにしたいという意見を出した。パンフレットのデザインは、田舎への移住や二地域居住などを考える高齢者はもちろん、広く親しんでもらえるように、誰もが親しみのある新聞をモチーフに決めた。

パンフレット制作 (12-1月)

一般的な新聞を参考にオリジナルフォーマットを決め、Illustrator、Photoshop を用いて制作。紙は実際の新聞に使われている新聞用紙を使用。

のぼり制作 (1月)



パンフレット



考察

コンセプト決定まで時間がかかり、計画的な取材をするためには、早めにコンセプトや予定を決めることが大切だと感じた。

また、他地域のもを参考にしながら、オリジナルのパンフレットを作るのは難しく、地域や商品などについて、たくさんの知識が必要だと感じた。

これから

2月に、闇川丸ごと自然を生かし隊、会津若松市役員に向け、報告会を予定。場面に応じたパンフレットの展示の仕方等を提案する。